

# いち 議会だより



第2回  
定例会

## 新体制で 議会スタート!



### 今号の表紙写真

タイトル：夏真っ盛り

コメント：上総更級公園ジャブジャブ池ではしゃぐ高校生の弾ける笑顔に元気をもらいました。

### 議長・副議長紹介



第59代  
永野 喜光 議長  
市原市上高根 在住  
昭和22年生まれ(76歳)  
会派：自由民主党



第58代  
吉田 峰行 副議長  
市原市八幡 在住  
昭和49年生まれ(49歳)  
会派：市民クラブ

### 議長就任あいさつ

このたび、私は、市原市議会第59代議長に就任しました。この荣誉ある地位に選任いただき、非常に光栄であり、同時にその責任の重さを深く感じています。

議員の皆さまのご理解とご支援を賜りながら、私たちは、議会の信頼性を高め、地域経済の活性化や少子高齢化対策など、地域の課題解決に取り組んでまいります。

また、行政執行においても、地域社会の発展を目指すには、リスクマネジメントの強化が不可欠です。議会と執行部が常にリスクを

認識し、迅速かつ適切に対応することで、地域の期待に応えていきたいと考えています。

市原市は、本年、市制施行60周年を迎えました。この記念すべき年に市議会の一員となったことを運命と感じ、市民の信頼に応えるために、市長や執行部としっかり議論を重ね、市民が元気になる施策を一丸となって実践していくことが求められています。

また、私自身も市民の皆さまからの貴重なご意見、ご要望を真摯に受け止め、積極的かつ迅速に行動してまいります。

市原市議会議長 永野 喜光

### 目次

代表質問	..... 2・3面
個別質問	..... 4面
常任委員会	..... 5面
特集記事	..... 6面
議案等審査結果	..... 7面
議会内役職構成	..... 8面

### 第2回 定例会

令和5年第2回定例会を6月29日から7月20日まで開催しました。

市長提出議案では、令和6年4月に開館を予定している「いちほら子ども未来館」の設置及び管理に関する条例の制定について」など20件を原案どおり可決しました。

また、請願2件については、審査の結果、採択され、議員発議案として原案どおり可決しました。(議決結果は7面に掲載)



「議会だより」は行政情報アプリ「マチイロ」に対応しています。アプリのダウンロードはこのQRコードから



Android版



iOS版

# 代表質問

## 代表質問とは

市の方向性を決める重要な政策・施策について、会派(2人以上の所属議員を有する)を代表して質問を行います。

## 時間制限は(答弁を含め)

- 3人以上の会派は、1人1時間を限度
- ・自由民主党 ・市民クラブ ・公明党 ・市凜会
- 2人の会派は、1人40分を限度
- ・日本共産党 ・市民ネットワーク

## 11 目標人口を下回ったことをどう捉えているか

自由民主党 保坂 好則



**問** 市原市総合計画では、人が住み続け・人が訪れるまちを目指し2026年の目標に「人口27万人の堅持」と交流人口500万人を掲げているが、2023年2月に人口27万人を割り込んでいる。目標人口として思い描いた市原の姿が総合計画期間折り返しの間もないこの時期に下回ることをどのように捉えているのか、市長の見解を伺う。

**市長** 人口減少という社会の変化をしっかりと受け止め、その中であつても、人々がつながり、支え合い、誰もが自分らしく生き生きと暮らし、地域経済の好循環の中で、市民一人一人が幸せを実感できるまちを実現するためには、施策の「更なる質の追求」が必要であるとの思いを強くしたところです。

私は、時代の潮流を捉え、未来を見据え、総合計画の最終年度である2026年を待つことなく、新たな総合計画を策定する覚悟を持って、議員、市民、各種団体、事業者、そして情熱を持って行動するあらゆる人々の力を合わせ「みんなが輝く未来を みんなで創る」を旗印に、「これから」のまちづくりに挑戦します。

(事業部:企画部 総合計画推進課)

## 新たな産業創造拠点の機能に期待

**問** 産業創造拠点となるサンプラザ市原が、本市初の本格的なインキュベーションセンターとして機能することを期待している。導入するインキュベーション機能とこれらを活用する事業ターゲットをどのようにみているのか、伺う。

**経済部長** 起業家等が必要とする事務所スペースやインターネット環境などのインフラ設備に加え、専門家のサポートや多様な交流の場を提供するインキュベーション機能は、新たなビジネスチャンスの時期を逸することなく起業・創業につなげるため、大変重要なものと認識しています。

新たな産業創造拠点では、本市の地域特性を生かして、臨海部企業との連携や、ICT分野での起業・創業支援などの特色を打ち出すことで、利用したいと思われる施設づくりを目指します。

当事業のメインターゲットは、若者・女性であり、特に本市の地域資源を活用して新たな事業に取り組む意欲ある起業家を呼び込み、育成することを想定しています。

(事業部:経済部 商工業振興課)

- 質問項目**
- ①終盤を迎える市原市総合計画について
  - ②子育て支援について
  - ③公共施設包括管理委託事業について
  - ④いちはら推し活制度について
  - ⑤帝京大学ちは総合医療センターの建て替えについて

## 16 投票率低下の要因は何か

日本共産党 駒形 八寿子



**問** 今回の市議会議員選挙の投票率は約37%であり、危機的状況と考えるが、投票率の低下をどう分析しているのか伺う。

**選挙管理委員会事務局長** 投票率の低下は、全国的にも問題とされており、本市の6月4日実施の市議会議員一般選挙では、37.25%と過去最低の投票率でした。

現在、選挙の投票率に影響を与える要因の検証を進めているなかでは、選挙の争点、天候、社会情勢など様々な条件が考えられ、一概に要因を特定することが困難です。しかし、10代、20代の若い世代の投票率が他の

この議会だよりは100%再生紙を使用しています。

## 8 中小企業や市民団体などにタイムリーな支援を

市民クラブ 渡辺 直樹



**問** 現在の物価高騰の状況が長く続くと、中小企業や市民団体の体力が削がれ、結果として市の施策推進にも影響が出てしまうのではないかと危惧するところである。中小企業や市民団体などに対するタイムリーな支援が必要と考えるが、見解を伺う。

**財政部長** 物価高対策として、令和5年度当初予算に加え、6月までに3回の補正予算措置を講じたところであり、特に国の「物価高克服に向けた追加策」を受けた交付金事業では、県内でもいち早く、全庁を上げて可能な限り速やかな支援に向け取り組みました。

その支援内容は、本市の実情を踏まえた独自施策として、物価高騰などにより厳しい経営環境にある中小企業・個人事業主には、事業継続や雇用維持に向けた支援を、市民団体には、「地域食堂・子ども食堂」への運営支援、市民活動団体への市民参加や資金支援にもつなげる「いちはら推し活制度」を予算化しました。

今後とも、市民や事業者のニーズを的確に捉え、タイムリーで効果的な支援策を講じるとともに、これらの施策が必要とする市民・団体・事業者の皆さまに伝わるよう、プロモーションにも取り組んでいきます。

(事業部:財政部 財政課)

## 帝京大学ちは総合医療センター移転の対応は

**問** 帝京大学ちは総合医療センターが、計画どおりちはら台へ移転・建て替えした場合、救急の搬送先はどうなるのか。本市の医療体制に与える影響を踏まえ、本市の考えと対応の方針を伺う。

**市長** 帝京大学ちは総合医療センターは、本市西部地域に立地する総合病院として、地域の皆さまに大きな安心感を与えてこられたのではないかと考えています。

今回の移転を伴う建て替え計画では、「病院の医療従事者の確保と帝京平成大学ちはら台キャンパスを医療系キャンパスとしての魅力を高めることが、大学の経営判断の要点である。」とのことでした。

しかし、本市の広域性と姉崎の地に誘致した経緯を踏まえ、大学側に再考していただくよう病院長の訪問を受けた際に、現在地での建て替えをその場で要望するとともに、学校法人帝京大学の理事長からの報告書に対しては、計画の再考を要請する文書を発信しました。

今後も、本市の救急医療体制を含めた医療提供体制を確保、維持していくため、大学関係者や関係機関と協議してまいります。

(事業部:保健福祉部 保健福祉課)

- 質問項目**
- ①市長の政治姿勢について
  - ②市原市の独自施策について
  - ③市制施行60周年記念事業の取組について
  - ④物価高騰による市財政への影響について
  - ⑤帝京大学ちは総合医療センターの建て替え(移転)計画について

年代に比べて低いことから、若年層の政治や選挙に対する関心の低さが投票率低下の要因の一つであると考えています。

また、今回の選挙期間中に台風2号による暴風雨に見舞われ、その間の期日前投票の状況が極端に低くなっていることから、天候も要因の一つと推測されます。

いずれにしても、選挙は民主主義の根幹をなすものであり、特に市議会議員選挙は、市民にとって最も身近なものであることから、より多くの有権者の投票が望まれます。

選挙管理委員会としては、公職選挙法第6条に規定されているように、選挙が公明かつ適正に行われるよう、あらゆる機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努めるとともに、選挙に関し必要な情報を選挙人に周知できるよう、啓発活動に取り組みます。(事業部:選挙管理委員会事務局)

- 質問項目**
- ①市原市議会議員選挙の投票率向上について
  - ②不登校の児童生徒への支援について
  - ③交通安全対策について

# 市政のここが聞きたい

議会中継は  
こちらから



※紙面の都合上、質問・答弁の一部の要旨を掲載しています。

## 11 最も重要な課題は何か！ 積極果敢な挑戦へ



公明党 伊佐 和子

**問** 3期目として、この4年間にどのような課題に挑戦するのか、最重要課題を3点に絞って見解を伺う。

**市長** 1点目は、持続可能な未来への挑戦です。市制施行60周年を迎えた節目の年を、これまで積み上げてきた確かな実績を礎に、更なる進化を遂げる新たな起点の年と位置付け、持続可能な未来に向け、新たな力を呼び込み、拠点まちづくり、多様な地域資源を活かした地方創生などの取組を進めます。

2点目は、子ども・若者、子育て世帯に選ばれるまちの実現です。まちづくりは「ひとづくり」であり、特に次代を担う子どもたちは無限の可能性を秘めた宝であることから、「こどもまんなか社会」を目指し、子ども・若者の成長や子育て世帯を徹底的に応援します。

3点目は、誰一人取り残さない包摂的で、安心・安全な社会の実現です。日常生活に不安を抱える市民に寄り添った支援を行うとともに、世代、性別、障がいの有無、国籍に関わらず、多様性が尊重され、誰一人取り残さない、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現を目指します。加えて、激甚化・頻発化する災害に備え、地域防災力を強化し、強靱な地域づくりを進めるとともに、本市の多様な地域特性を踏まえ、交通の安全性と利便性の向上を図ります。  
(事業部:企画部 総合計画推進課)

## 子どもたちに引き継ぐ60周年記念事業を

**問** 市民の皆さまと共に、60周年を祝いながら100周年を目指す中で、特に次代を担う未来の宝である子どもたちに、どのように引き継いでいくのか見解を伺う。

**総務部長** 先人たちから受け継いだ魅力をさらに磨くとともに、時代の変化を捉え新たな一歩をしっかりと踏み出す、「これから」の市原につなぐ節目の年として、将来を担う子ども・若者たちの夢や希望が育まれる、そして思い出に残る記念事業の実施を考えています。

来年1月に実施する「エンジン01 in 市原」は、各分野の日本を代表する有識者たちが、子ども・若者が興味や関心を持つ様々なテーマを含む約80の講座で、熱のこもった魅力あふれる講義を行います。また、同時開催の「エンジン01ハローワーク in 市原」では、各界の一流文化人たちが講師となって、仕事の楽しさを中高生対象に直接指導します。

この他にも、児童・生徒が人文字で参加する航空写真集の制作、「小学生による子ども議会」を開催します。  
(事業部:総務部 総務課)

質問項目

- ①市長の政治姿勢について
- ②子育て世帯を徹底的に応援することについて
- ③高齢者が生き生きと暮らせる社会について
- ④安心・安全な地域づくりについて

## 17 パートナシップで 目標を達成しよう アウトソーシングに 対する考え方は何か



市民ネットワーク 小沢 美佳

**問** 行財政改革では民間活力の活用を積極的に進めているが、現時点での損得や効率性だけで判断する危険性を避けるためには、本市にとって「公益とは何か」という共通認識がなければならないと思う。アウトソーシングに適している部門・なじまない部門等、すみ分けの考え方を含め、アウトソーシングに対する全体的な方針を伺う。

**市長** 「ひとの力」こそが、困難な課題を乗り越え、未来を切り拓く原動力であり、「ひとの力」を活かした行財政経営には、行政と民間が共に力を発揮していくことが不可欠であるという信念のもと、あらゆる分野において公民連携事業に積極果敢に挑戦してきました。

民間のノウハウや効率性を活用することで、サービス水準の向上やコス

## 11 既存住宅団地の 再生を



市凜会 竹内 直子

**問** 住んでみたい・住み続けたいと思えるまちづくりを進めていくためには、市内の魅力やブランド力を高めるとともに、安心して生活できる環境を整えること、新規住宅開発に加え既存住宅団地を再生していくことが欠かせない。

市としての役割をどのように考えているのか、どのように進めていくのか、見解を伺う。

**都市部長** 既存団地については、計画的に整備された良好な住環境を生かし、空き家のリフォームやリノベーション、シェアハウスとしての活用などにより、若い世代を呼び込み、「多世代共生型のまち」への転換を図ることで、活性化させ、今後も安心して暮らし続けられる団地として再生していくことが重要であり、市では、勉強会などを通じて課題を共有しながら、地域と連携した取組を進めています。

また、現在進めている五井や八幡の土地区画整理事業による基盤整備を始め、JR駅周辺の拠点形成の取組等により、駅周辺の魅力や機能を向上させることで、民間活力による新たな住宅開発等も期待できることから、既存団地再生に向けた様々な取組との相乗効果も期待しています。

市としては、地域や民間事業者等との役割分担の下で丁寧に対話と連携を重ね、それぞれの主体的な取組をサポートしながら、地域特性に応じた形で全市的に波及させることで、住み続けたい・住んでみたいと思われれるまちの実現を目指します。  
(事業部:都市部 都市計画課)

## 地域公共交通の導入に向けた考え方は

**問** 人口減少社会にあっても、人々の生活に欠くことができないものの一つに交通手段の確保がある。市内の公共交通は、今、大きな転換期を迎えていると思う。本市の地域公共交通の導入について、市の役割を含めて、どのように進めていくのか、伺う。

**地方創生部長** 本市の交通施策の基本的な考え方として、まずは路線バスなどの既存の公共交通を確保維持していくことが重要と考えています。

その上で、交通空白地域などでは、市民や事業者との協働を基本に、地域住民主体の地域の交通需要に応じたコミュニティバス等の運営を支援することで、地域の特性に合った持続可能な公共交通の確立を目指してきました。

地域公共交通として新たな交通モードの導入にあたっては、この考え方を踏まえて、地域の皆様との対話を重ね、交通事業者等の関係者との合意形成に向けては、市が中心となって進めていきます。

(事業部:地方創生部 交通政策課)

質問項目

- ①市長の政治姿勢について

ト削減につながるものについては、民間活力の効果的な活用を推進していくことが行政経営者としての責務であり、その分野は、基本的にあらゆる施策分野に及ぶものと考えています。

その中であって、公権力の行使にあたる業務や市民に寄り添った相談業務、企画立案業務、あるいは、市民の皆様との対話を踏まえながら行政経営にとって重要な判断を伴う業務については、職員が自ら考え、手足を動かして行うべきものであります。

「みんなが輝く未来を みんなで創る」ため、市民サービスの向上を第一として、市と事業者も共に成長し、市民、事業者、市の「三方良し」となることが理想的なアウトソーシングの姿であると考えています。

これからも、市民ニーズを的確に捉え、地域の課題を解決するため、民間の有する強みを活かすとともに、行政がその責任を全うすることで、市民サービスを向上させ、事業成果が最大となるような公民連携を推進していきます。  
(事業部:総務部 総務課)

質問項目

- ①市政運営の基本的な考え方について

# 個別質問

## 個別質問とは

議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針に対して、市長や担当する各部局長などに質問することです。

## 時間制限は(答弁を含め)

1人30分を限度

※紙面の都合上、質問・答弁の一部の要旨を掲載しています。

### ドクターカー要請基準の拡大を

自由民主党 増茂 誠二



**問** 帝京大学ちば総合医療センターと千葉労災病院で運用が開始されたドクターカーの出動は、ドクターヘリの要請基準に準じているが、陸上の機動性があるドクターカーの要請基準を拡大できないのか、伺う。

**消防局長** 両医療機関との事前協議により、ドクターヘリの基準に加え、救急隊が必要と判断した場合の要請も可能です。今後も、効果的に活用ができることと判断した事案には、積極的に出動を要請するとともに、救急事案の検証結果などを踏まえ、両医療機関と連携して、より良い出動基準の構築を図っていきます。(事業部:消防局 警防救急課)

### 障がい者就労支援の取り組みは

市民クラブ 安在 尚太



**問** さまざまな障がい特性がある方々がその能力を生かし働くことに生きがいを感じられる社会環境の創出は非常に重要な課題である。就労支援の取組状況を伺う。

**保健福祉部長** 「福祉的就労支援」では、障がい者の工賃向上を目的に、障害者就労支援施設などからの「優先調達」や「販路拡大支援」に取り組み、「一般就労支援」では、ハローワークとの連携により、就労相談や企業と障がい者をつなぐ面接会を実施しています。今後、就労を考える障がい者が行動を起こすきっかけとなる「就労支援ガイドブック」の発行を予定しています。(事業部:保健福祉部 障がい者支援課)

### 誰もが利用しやすい図書館に

公明党 橋本 秀和



**問** 「読書バリアフリー法」には、「地方公共団体は、国との連携を図りつつ地域の実情を踏まえ視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する」とあるが、本市の取組を伺う。

**教育振興部長** 「みんなにやさしい図書館」の実現を目指し、大活字本、デジタル音訳図書、電子書籍サービス、布の絵本、点字図書などの利用が可能です。また、「拡大読書器」の設置や図書館で養成した音訳者が「対面朗読室」で希望される資料を直接お読みするサービス等を行っています。今後も、誰もが利用しやすい読書バリアフリーの推進に取り組みます。(事業部:教育振興部 中央図書館)

### 交通移動手段に大胆な施策を

日本共産党 福田 雅彦



**問** 免許証返納後の交通手段に悩む市民は交通空白地域に限らず存在している。今年度下期にデマンドタクシーの実証運行を予定しているが、計画とその後展開等を伺う。

**地方創生部長** 約1年間を予定している実証運行は、現在、開始に向け、事業者と地域の皆様との具体的な役割について協議を実施しています。開始後は、サービス内容、他の公共交通への影響、運行経費等の検証を行い、必要な見直し等を行いながら、本格運行への移行を目指しています。また、同様の課題を抱える地域に意向確認を行う等、地域のニーズやスピード感に合わせた対応を図ります。(事業部:地方創生部 交通政策課)

### 発達支援の総司令塔としての機能強化へ

市民ネットワーク 森山 薫



**問** 専門性の高い職員が配置されている発達支援センターが、発達支援事業所との連携を深め、積極的な働きかけを行い、中核的な支援施設としての役割を果たしていただきたいと思うが、見解を伺う。

**子ども未来部長** 専門職員が保育施設や通所支援事業所等を巡回し、直接さまざまな支援を行うとともに、研修会等を実施しています。令和6年度からは、子ども未来館に療育相談機能を配置し、相談対応やさらなるアウトリーチに向けた地域支援体制の充実を図っていきます。今後も市内の事業所とのネットワークを強化し、発達に不安を抱える親子を公民一体となってサポートします。(事業部:子ども未来部 発達支援センター)

### 若者を応援する施策を積極的に

郷土市原を次代に繋ぐ 浜中 吾郎



**問** 市が若者を応援し、市政と自身がつながっているという自覚を持つこと、主体性を発揮していくことが未来にとって重要と考えるが、市長の思いを伺う。

**市長** いちはらの全ての子ども・若者が「自分の人生の主人公は自分だ」と未来に希望を持ち、思いを叶えられるまち、そして、思いをみんなが応援できるまちを実現することは、私たち大人の責務と考え、施策を推進していきます。次期総合計画に向けた取組では、今後、社会の最前線で活躍する若者が計画づくりに参画することで、これからのまちづくりを「自分ごと」と捉え、取り組んでいただけるよう進めます。(事業部:企画部 総合計画推進課)

### 子ども車内置き去り防止への取り組みは

日本維新の会 斎藤 武士



**問** 子どもの車内置き去りは重大な事故につながりかねない。何かあってからでは遅いことを周知する市の積極的な広報活動、警察や自治会等と連携しての見回り活動等が必要と考えるが、見解を伺う。

**子ども未来部長** 市ウェブサイトにて啓発記事の掲載、市長からのメッセージを町会・自治会を通じて、各家庭へ緊急的に伝えたり、県警と連携し、ポスターやリーフレットの作成、母子手帳アプリ「母子モ」によるプッシュ型の配信を実施しています。多くの方々の見守りにより、地域全体で子どもの大切な命を守るため、今後も様々な主体と積極的に連携していきます。(事業部:子ども未来部 子ども家庭総合支援課)

### 水稻農家の経営安定化に支援を

参政党 中島 拓



**問** 水稻農家は、国家の礎であり、食糧面だけでなく地域の防災や文化を守る重要な役割を担っている。肥料や資材の高騰等に対する支援や対策、今後の取組について伺う。

**経済部長** 市内の認定農業者などを対象に「農業肥料等購入緊急支援事業」「農業燃料等高騰緊急対策事業」により、農業者の負担軽減を図りました。このほか、経営の維持や多様な担い手の確保に向け、圃場の再整備等に地域と共に取組むとともに、都市近郊農業高収益化モデル事業を進め、持続可能な農業の推進に取り組んでいきます。(事業部:経済部 農林業振興課)

### 五井会館の活用実証実験内容は

自由民主党 相川 真樹



**問** 中心拠点にある五井会館は、一部が休眠状態であり、十分に活用されていない。今後の方向性次第では、五井駅西口が活性化できるかどうか、重要な事案である。実証実験の内容を伺う。

**地方創生部長** 一つ目が、キャリア教育の場の提供として、小中学生を対象としたオリジナルロボットの製作・創作体験です。本市の根幹をなす産業であるモノづくり産業につながるキャリア教育を実践するものです。二つ目が、外国籍の人々と地域住民との交流の場を創出するイベントの実施を予定しています。また、実態調査により、住みやすさの向上など、多文化共生社会の実現につながる取組を進めます。(事業部:地方創生部 地方創生課)

### 新しい交通モードの周知は

公明党 秋田 信一



**問** 地域交通の問題は、時間的猶予が少ないと感じていると思うが、多様な交通モード導入こそが最善であると思うが、今後の地域支援の在り方を見解を伺う。

**地方創生部長** 交通空白地域に限らず、身近な生活施設やバス停などの交通結節点から自宅までの移動手段「ラストワンマイル」についても、高齢化が進む住宅団地の皆さまと協働して取り組んでいます。グリーンスローモビリティ車両の地域での展示会等は、新しい交通モードの周知等に一定の効果があると考えています。市では、地域特性に応じた持続可能な運行を第一に考え、地域に寄り添った支援に努めます。(事業部:地方創生部 交通政策課)

### 自転車ヘルメット購入に助成を

公明党  
吉田 あけみ



**問** 大切な命を守るための自転車ヘルメットが必要と理解していても、家族が多ければ家計の負担が大きいという声がある。購入費の負担軽減について見解を伺う。

**市民生活部長** 自転車ヘルメット着用を促進するうえでの課題として、高額な購入費用に加え、見た目に関する抵抗感や着脱の手間、出先での収納方法などをあげる意見が多くあることを認識し、着用促進に向けた検討をさらに進める必要があると考えています。ヘルメット購入助成は、市民の負担軽減に資するものであり、購入を促す動機付けとなりうると考えられ、先進自治体の取組と着用率向上への効果等を調査・研究し、検討します。

(事業部:市民生活部 地域連携推進課)

### 未曾有の豪雨に対応可能か

公明党  
目黒 秀樹



**問** 令和元年の台風21号では、海上地区の柳原排水機場の周辺一帯が湖のようになっていた。整備当時の排水能力で、近年の未曾有の豪雨に対応できるのか見解を伺う。

**経済部長** 周辺流域から流出する雨水等による農作物への被害を解消するため、昭和54年度に柳原排水機場を整備しました。現在、柳原及び海上排水機場に設置されている3基の排水ポンプは、農林水産省の土地改良事業計画設計基準により計画、強化され、毎秒8トンの排水能力があります。近年の気候変動の影響により局地的な豪雨も頻発化していますので、県内に多くの施設整備を行っている千葉県に、技術的な面での助言を受けながら、改めて排水能力の点検を行います。

(事業部:経済部 農林業環境整備課)

### 持続可能な公共交通を

公明党  
堀田 祐介



**問** コミュニティバスでは、乗客がいない状態で走っている光景を見受けられるが、既に導入しているコミュニティバスやデマンドタクシーの利便性・持続性の向上への見解を伺う。

**地方創生部長** コミュニティバスでは、地域の皆さまとの協働による安定した運営の継続を図るため、運行エリアの人口状況や利用実態をしっかりと分析したうえで、車両の小型化など、地域に適した交通モードを検討し、必要な支援を行います。デマンドタクシーについても、各地区の運営会議で市と協働で改善策を検討しています。地域での取組を積極的に支援しながら、既存の地域公共交通の利便性向上を図り、各地域特性に応じた持続可能な公共交通を作り上げます。

(事業部:地方創生部 交通政策課)



## 常任委員会からの審査報告

各常任委員会は7月11日・12日・13日・14日に開催されました。本会議で付託された議案内容の一部を紹介します。

常任委員会の資料はこちら



### 総務

## 歴史博物館への交通手段確保は

議案5件を審査

### 議案第56号

令和5年度市原市一般会計補正予算(第3号)について

### 議案概要

国のマイナポイント申請期間延長によるマイナポイント申込支援に係る経費のほか、マンション管理適正化の推進、土日祝日における路線バス運休に伴う歴史博物館への交通手段の確保に必要な経費を計上したものである。

**問** 歴史博物館への路線バス運休に伴うシャトルバスの運行は、どのようなバスで、何名位の利用者がいるのか。

**答** 市所有のワンボックス車(乗車定員10名)で、JR五井駅から歴史博物館までを1日14便(片道7便)運行しており、現在1日平均10名程度の乗車があります。今後は、夏休みや秋の特別展に多くの利用者を見込んでいます。

**要望** 費用対効果の観点も含め、夏休みや特別展の来場者増加等の状況に対応できるよう、乗車数の統計をしっかりとってほしい。

(事業部:財政部 財政課/教育振興部 文化財課)

### 教育 民生

## 地域全体の子育て支援となる施設に

議案3件、請願2件を審査

### 議案第48号

いちほら子ども未来館の設置及び管理に関する条例の制定について

### 議案概要

子どもの健やかな成長を支援し、子育て世代にとって魅力あるまちづくりを推進するため、子育て支援の総合的な拠点となる「いちほら子ども未来館」の設置及び管理に関する事項を定めるために条例を制定するものである。

**問** イベント等の実施をお知らせする業務は、どこが行うのか。

**答** 指定管理者制度の導入により指定した管理者が、独自にサイトを作成するとともに、市のホームページでも利用者に周知していきます。

**問** 地域子育て支援拠点として、地域の児童館との連携はあるのか。

**答** 子ども・子育て教室やイベントを地域の児童館へ出張して開催するなど、地域の子ども・子育て支援の充実を図っていきます。

(事業部:子ども未来部 子ども福祉課)

### 市民 経済

## 市が積極的に 早期実行を

所管事務調査2件

### 所管事務調査

公共交通施策の在り方について

### 案件概要

小湊鐵道株式会社より小湊鐵道線の安全投資に関わる継続的な支援の検討要請があったことを受け、支援の在り方や代替交通モードの可能性・導入等の検討を行う会議体への移行を視野に、千葉県や沿線市町等が相互に連携を図り、必要な協議や調整等を行う「(仮称)小湊鐵道線地域公共交通活性化再生協議会設置準備調整会議」の目的等と「市原市地域公共交通計画」の進捗状況を確認した。

### 委員からの意見(抜粋)

□小湊鐵道株式会社に支援を実施する場合には、市がしっかり経営状況を把握すること。

□路線バスが加速度的に減退している。運転手確保の問題のみを重視するのではなく、近隣自治体の政策等を把握し、技術革新等を視点に未来思考で対応すること。

□交通計画の在り方については、移動手段に困っている方を重点にした方が、課題解決の近道と考える。

(事業部:地方創生部 交通政策課)

### 環境 建設

## 平成通り(平田工区)の工事進捗状況は

議案2件を審査、所管事務調査1件

### 所管事務調査

八幡椎津線(平田工区)の進捗状況について

### 案件概要

八幡椎津線(平成通り)の平田工区は、第2工区の市道12148号線から国道297号バイパスまでの区間420メートルについて、小湊鐵道の軌道をアンダーパスで横断する計画としている。横断部分は、現在トンネル天井部の工事を行っており、今後トンネルの箱型を形成し内部の掘削を行っていく。

軌道横断工事を令和6年度に完了した後、斜路部分の箱型トンネル等の築造や排水施設の整備等を行い、最終的に五井駅側交差点と国道297号バイパスの交差点を改良し、供用を図っていく。

**問** アンダーパスによる軌道の横断は、大雨の際に冠水の心配があるが、その対策について伺う。

**答** 毎分8t排水できるポンプを2基設置し、時間当たり55mmの雨に対応できます。また、停電への対応として自家発電機を備え、冠水時には電光掲示板により通行者にお知らせできる設備を設置していきます。

(事業部:土木部 道路建設課)

# 新人議員の自己紹介

令和5年6月4日に執行されました市議会議員選挙におきまして、6人の新人議員を含め、32人が当選しました。今後4年間、市民の代表として、市民の声を市政に反映させるために活動します。新しく議員となった皆さんに自己紹介をしてもらいます。(50音順)

## 日本維新の会

さいとう たけし  
**齋藤 武士** (45歳)

キャンプやトレッキングなどアウトドアが趣味な私ですが、そのくせに尋常じゃないほど虫が苦手という、ちょっと変わったヤツだったりします。仲間と一緒にキャンプに行けば、テントにとまった蛾のせいで中に入らず右往左往したり、息子が友達からもらったカブトムシやクワガタにもビビる始末…。野外で中年男性が虫に驚いて声をあげている姿は異様らしく、いつも周囲が苦笑しております。

「カブトムシを捕りに行きたい」という子どもたちのために、まずは慣れることから昆虫図鑑を見ながら目下特訓中です。



## 参政党

なかしま たく  
**中島 拓** (42歳)



皆さまこんにちは。参政党の中島拓です。私は国分寺台小学校(6年生の夏までは明神小学校)、国分寺台中学校を卒業し、子どもの頃から市原市で育ててもらってきました。

20代は株式会社ユニクロ勤務、31才から現在まで市内で農業の仕事を行っています。

今の日本に危機感を感じ、「政治を人任せにしているは何も変わらない。」そう思い、ただの一農家の私ですが、政治の道を志しました。

4年間、学び成長し市原市に貢献できるよう活動してまいります。よろしく願い致します。

## 郷土市原を次代に繋ぐ

はまなか ごろう  
**浜中 吾郎** (35歳)



この度の市原市議会議員選挙で初当選をした浜中吾郎です。

私は昭和63年生まれの35歳ですが、日本も市原市も右肩上がりだった時と比べると、今は見える景色も抱える問題も変化を感じます。そうした中でも市原市が「若者・子育て世代に選ばれるまち」になり、全世代に良い影響が及ぼせるように、地元が抱えている悩みや課題を共有しながら、市政を前に進めていきたいです。任期中よろしく願い致します!

最近、息子のお絵描きがどんどん上手くなってきて、同じくカービィの落書きばかりしていた自分の過去を思い出します…w

## 日本共産党

ふくだ まさひこ  
**福田 雅彦** (65歳)



初議会で初質問。約40年前社会に出ていった時の新入社員の心境です。その当時との違いは、地域社会や会社人生で培ってきたこれまでの経験とスキルの蓄積があります。これら蓄積を活かして、議会に集約された市政に関する多くの情報を市民の皆さまに伝え、市政との間をつなぐパイプ役の仕事をしていきたいと決意しています。

また、歌うことが好きで、合唱団にも所属し平和を願う歌を歌っています。戦後78年間あたり前と思っている今の平和な生活が、今後も送れるようお願い続けます。

## 公明党

ほった ゆうすけ  
**堀田 祐介** (49歳)



私は妻と愛犬と泉台で仲良く暮らしています。団塊ジュニア世代の現在49歳。

学生時代は野球に汗を流しました。前職は、日産化学株式会社袖ヶ浦工場、液晶画面の部材を製造する工場の生産管理業務に勤めてまいりました。たくさんの無理難題を一つ一つ解決して、課題解決力を身に付けることができました。

この経験を生かしまして、本市の課題解決に挑戦してまいります!エッセンスを大切に、一つ一つの課題に対しまして、粘り強く挑戦し続けてまいります!皆さま大変お世話になりますが、何とぞよろしくお願い申し上げます。

## 公明党

めぐろ ひでき  
**目黒 秀樹** (49歳)



こんにちは。市政60周年を迎えたこの度の市議会議員選挙にて、初当選させていただきました。

60年前といえば、京葉コンビナートの建設のため、地元の方のみならず全国からたくさんの方が集い、市原市のまちづくりへ奮闘開始された時期と思います。その頃よりずっと市原に住み続け、高齢になられた方も多いのではないのでしょうか。少子化・高齢化・自然災害等、様々な課題がある中で、小さな声にも大きな問題にも積極的に取り組んでまいります。

市民の皆さまに喜ばれる市原づくりへ全力で働いてまいります。よろしくお願いいたします。

市議会議員として長きにわたり地方自治の発展に寄与した功績により表彰されました

## 全国市議会議長会表彰議員 在職15年以上

- 大曾根 友三 議員
- 岡 泉 議員
- 鈴木 友成 元議員 (現 千葉県議会議員)
- 田尻 貢 議員
- 塚本 利政 議員
- 保坂 好則 議員
- 水野 義之 元議員

(50音順にて紹介)

## 令和5年 第2回定例会議決(審査)結果

( )内の数字は所属議員数・会派は2名以上

議案概要等はここから ▼ 		本 会 議										議 決 結 果	付託委員会
		自由民主党	市民クラブ	公明党	市凜会	日本共産党	市民ネットワーク	(無所属)岡泉	(無所属)浜中吾郎	(無所属)斎藤武士	(無所属)中島拓		
番 号	件 名	(8)	(7)	(6)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)		
41	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度市原市一般会計補正予算(専決第2号)について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	総務常任委員会
42	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	委員会付託省略
43	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	委員会付託省略
44~47	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	委員会付託省略
48	いちほら子ども未来館の設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	教育民生常任委員会
49	市原市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	総務常任委員会
50	市原市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	総務常任委員会
51	市原市火葬場施設の設置等に関する条例の一部を改正する 条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	教育民生常任委員会
52	市原市墓園の設置等に関する条例の一部を改正する条例の 制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	教育民生常任委員会
53	市原市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	総務常任委員会
54	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	環境建設常任委員会
55	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	環境建設常任委員会
56	令和5年度市原市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	可決	総務常任委員会
57~58	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	委員会付託省略
59~60	副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	委員会付託省略
議員発議案	1	国における令和6年度教育予算拡充に関する意見書について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決	委員会付託省略
	2	義務教育国庫負担制度の堅持に関する意見書について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決	委員会付託省略
請願	2	国における2024年度教育予算拡充に関する意見書の提出を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	教育民生常任委員会
	3	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	教育民生常任委員会

欠：疾病等により議決時に「欠席」したため

### 令和5年第3回定例会会期日程 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
			8/30 本会議開会	8/31	9/1	2
3	4 本会議 (代表質問)	5 本会議 (代表質問)	6 教育民生 常任委員会	7 市民経済 常任委員会	8 環境建設 常任委員会	9
10	11 総務 常任委員会	12 常任委員会 (予備日)	13 本会議 (個別質問)	14 本会議 (個別質問)	15 決算審査 特別委員会	16
17	18 敬老の日	19 決算審査 特別委員会	20 決算審査 特別委員会	21 決算審査 特別委員会	22 決算審査 特別委員会	23 秋分の日
24	25 決算審査 特別委員会	26 決算審査 特別委員会	27 決算審査 特別委員会	28 決算審査 特別委員会	29 決算審査 特別委員会	30
10/1	2 決算審査 特別委員会	3 本会議閉会	4	5	6	7

### 編集後記



令和5年度、市原市制施行60周年という記念すべき節目の年に、初めて広報委員となり、委員長になりました。

広報委員会は、平成27年の発足以来、最多10人でのスタートとなりました。

このたびの改選で6人の新人議員が誕生し、そのうち5人が広報委員会に加わりましたので、新たな視点と斬新な発想で新風をもたらしてくれることを期待しています。

これからも、市民に親しまれる「伝える広報」「伝わる広報」となる紙面を目指して取り組んでまいります。

市原市議会広報委員会 委員長 相川 真樹

# 各委員会

# の委員紹介

常任委員会委員の任期  
令和5年6月29日から2年間

【凡例】



氏名/当選回数  
会派名

市の仕事は広範囲に渡っているため、議員全委員が本会議で話し合うと時間がかかり、詳しい話し合いができないため、委員会で審査・調査をします。第2回定例会において選出された、各常任委員会等の委員構成をお知らせします。

## 総務常任委員会

所管事項… 企画部、総務部、財政部、消防局、出納室、選挙管理委員会、監査委員、議会事務局の所管に関する事項、及び他の委員会の所管に属さない事項



◎委員長  
増茂 誠二 ③  
自由民主党



○副委員長  
橋本 秀和 ③  
公明党



田尻 貢 ⑤  
自由民主党



伊藤 浩士 ③  
市民クラブ



堀田 祐介 ①  
公明党



大曾根 友三 ⑤  
市凜会



岡 泉 ⑤  
市政会



浜中 吾郎 ①  
郷土市原を  
次代に繋ぐ

## 教育民生常任委員会

所管事項… 保健福祉部、子ども未来部、教育委員会の所管に関する事項



◎委員長  
安在 尚太 ②  
市民クラブ



○副委員長  
相川 真樹 ②  
自由民主党



永野 喜光 ④  
自由民主党



山内 一平 ③  
市民クラブ



伊佐 和子 ④  
公明党



目黒 秀樹 ①  
公明党



駒形 八寿子 ②  
日本共産党



斎藤 武士 ①  
日本維新の会

## 市民経済常任委員会

所管事項… 地方創生部、市民生活部、経済部、農業委員会の所管に関する事項



◎委員長  
秋田 信一 ②  
公明党



○副委員長  
小沢 美佳 ④  
市民ネットワーク



保坂 好則 ⑤  
自由民主党



関 学 ③  
自由民主党



塚本 利政 ⑤  
市民クラブ



吉田 峰行 ④  
市民クラブ



竹内 直子 ⑥  
市凜会



福田 雅彦 ①  
日本共産党

## 環境建設常任委員会

所管事項… 環境部、土木部、都市部、上下水道部の所管に関する事項



◎委員長  
平出 泰秀 ②  
自由民主党



○副委員長  
渡辺 直樹 ③  
市民クラブ



伊藤 重明 ③  
自由民主党



菊地 洋己 ⑥  
市民クラブ



吉田 あけみ ②  
公明党



勝地 豊 ⑥  
市凜会



森山 薫 ③  
市民ネットワーク



中島 拓 ①  
参政党

## 議会運営委員会

所管事項…  
議会の運営などに関すること

◎委員長

塚本 利政

保坂 好則

橋本 秀和

○副委員長

伊佐 和子

増茂 誠二

大曾根 友三

菊地 洋己

駒形 八寿子

## 広報委員会

所管事項…  
議会だよりなどの議会の広報に関すること

◎委員長

相川 真樹

伊藤 浩士

福田 雅彦

斎藤 武士

○副委員長

森山 薫

目黒 秀樹

岡 泉

中島 拓

竹内 直子

浜中 吾郎

## 議会選出の各種委員

監査委員 田尻 貢/菊地 洋己

都市計画審議会 相川 真樹/目黒 秀樹/森山 薫/浜中 吾郎

地産地消推進協議会 堀田 祐介/中島 拓

国民健康保険運営協議会 平出 泰秀/斎藤 武士

地域保健医療協議会 伊藤 浩士/山内 一平/伊佐 和子/

竹内 直子/駒形 八寿子

医療連絡協議会 永野 喜光

青少年問題協議会 永野 喜光/安在 尚太

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員 安在 尚太